



2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クスリのアオキホールディングス
 コード番号 3549 URL <http://www.kusuri-aoki-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木宏憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当 (氏名) 八幡亮一 TEL 076-274-6115
 四半期報告書提出予定日 2023年4月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績（2022年5月21日～2023年2月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	282,227	14.8	12,740	15.7	16,864	41.5	11,956	54.8
2022年5月期第3四半期	245,855	—	11,009	—	11,914	—	7,721	—

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 12,143百万円 (56.8%) 2022年5月期第3四半期 7,743百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	379.17	—
2022年5月期第3四半期	244.87	—

(注) 1. 2022年5月期第3四半期の各数値については、会計方針の変更を適用した後の数値となっております。このため対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	264,126	98,154	37.1
2022年5月期	234,201	86,930	37.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 98,101百万円 2022年5月期 86,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2023年5月期	—	14.50	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	—	—	14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年5月21日～2023年5月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	9.6	15,200	8.0	16,000	1.4	10,800	9.8	342.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期3Q	31,532,560株	2022年5月期	31,532,560株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	535株	2022年5月期	462株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期3Q	31,532,079株	2022年5月期3Q	31,532,253株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年5月21日～2023年2月20日)のわが国の経済情勢は、新型コロナウイルスの感染が再拡大するなかでも、水際対策の緩和及び各種行動制限のない年末年始を迎えるなど、経済社会活動の正常化に向けた動きが進みました。景気減速懸念を背景に、欧米の主要中央銀行が政策金利の引き上げペースを落とし、9月や10月の大幅な円安は年明けにかけて円高が進み一服しましたが、電気やガス料金の高止まりや食品などの物価高は引き続き進行しており、依然として先行き不透明な状況は継続すると想定されます。

ドラッグストア業界におきましては、物価上昇やコロナ禍による需要動向の変化に加え、異業種を含む競合他社との熾烈な出店競争や価格競争、さらには業界上位企業による経営統合やM&Aによる規模拡大等、経営環境は一層厳しさを増しております。

当社グループでは、このような環境のもと各種感染拡大の予防対策を徹底し、お客様が安心して来店できる店舗づくりに注力いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の感染不安を感じる地域の皆様に向けて、PCR・抗原検査キットの無料検査事業に引き続き参画いたしました。引き続き、地域のかかりつけ薬局として調剤併設率の向上を図るとともに、既存店の改装を中心に生鮮食品等の品揃え強化を行うことで「フード&ドラッグ」を実現し、お客様により一層、利便性を提供できるよう努めてまいります。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを北信越に18店舗、東北に14店舗、関東に8店舗、東海に11店舗、関西に11店舗の合計62店舗の出店を行い、さらなるドミナント化を推進いたしました。

また、ドラッグストア併設調剤薬局を北信越に14薬局、東北に8薬局、関東に11薬局、東海に8薬局、関西に9薬局の合計50薬局を新規に開設いたしました。一方、ドラッグストア12店舗を閉店いたしました。

なお、2022年12月1日付で、当社の子会社である株式会社クスリのアオキが食品スーパーを展開する株式会社三崎ストア(石川県)が行う食品スーパー事業を譲り受けました。

これにより当第3四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア869店舗(うち調剤薬局併設510店舗)、調剤専門薬局6店舗、スーパーマーケット1店舗の合計876店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,822億27百万円(前年同期比14.8%増)、営業利益127億40百万円(同15.7%増)、経常利益168億64百万円(同41.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益119億56百万円(同54.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は2,641億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ299億25百万円増加いたしました。主な増加要因は、現金及び預金の増加127億96百万円、新規出店等による建物及び構築物の増加103億31百万円によるものであります。

負債合計は、1,659億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ187億1百万円増加いたしました。主な増加要因は、新規店舗の設備投資を用途とする長期借入金(1年以内返済予定含む)の増加93億36百万円、支払手形及び買掛金の増加50億11百万円によるものであります。

純資産合計は981億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ112億23百万円増加いたしました。また、自己資本比率は37.1%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、現時点におきましては、2022年7月4日に公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,348	39,145
売掛金	6,979	8,947
商品	39,673	42,446
未収入金	12,852	15,689
その他	694	934
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	86,547	107,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	101,717	112,049
土地	4,966	4,851
リース資産(純額)	7,619	8,149
建設仮勘定	8,143	4,861
その他(純額)	3,958	5,155
有形固定資産合計	126,404	135,068
無形固定資産		
のれん	2,006	1,894
その他	2,068	2,545
無形固定資産合計	4,075	4,440
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,745	7,866
繰延税金資産	3,239	3,221
その他	6,264	6,448
貸倒引当金	△75	△80
投資その他の資産合計	17,173	17,456
固定資産合計	147,653	156,964
資産合計	234,201	264,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,701	46,712
1年内返済予定の長期借入金	9,742	10,778
未払法人税等	3,440	2,349
賞与引当金	1,108	1,048
ポイント引当金	51	29
契約負債	2,348	2,317
未払金	9,778	11,575
その他	4,610	7,333
流動負債合計	72,781	82,144
固定負債		
長期借入金	59,907	68,207
リース債務	6,447	6,834
役員退職慰労引当金	235	250
退職給付に係る負債	3	3
資産除去債務	7,705	8,332
その他	189	200
固定負債合計	74,489	83,827
負債合計	147,270	165,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,167	1,167
資本剰余金	2,175	2,166
利益剰余金	83,675	94,764
自己株式	△3	△4
株主資本合計	87,015	98,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△180	6
その他の包括利益累計額合計	△180	6
新株予約権	96	52
純資産合計	86,930	98,154
負債純資産合計	234,201	264,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2022年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)
売上高	245,855	282,227
売上原価	179,253	203,014
売上総利益	66,601	79,212
販売費及び一般管理費	55,592	66,472
営業利益	11,009	12,740
営業外収益		
受取利息	39	33
受取配当金	35	36
受取手数料	165	186
貸貸収入	126	149
補助金収入	430	3,750
固定資産受贈益	36	17
その他	270	236
営業外収益合計	1,104	4,410
営業外費用		
支払利息	120	186
貸貸収入原価	46	48
その他	32	51
営業外費用合計	199	286
経常利益	11,914	16,864
特別利益		
固定資産売却益	2	15
新株予約権戻入益	2	43
投資有価証券売却益	12	3
その他	-	6
特別利益合計	17	68
特別損失		
固定資産売却損	22	19
固定資産除却損	125	79
補助金返還損	53	5
減損損失	45	295
その他	6	5
特別損失合計	254	405
税金等調整前四半期純利益	11,677	16,527
法人税、住民税及び事業税	4,044	4,604
法人税等調整額	△88	△33
法人税等合計	3,956	4,571
四半期純利益	7,721	11,956
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,721	11,956

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2022年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)
四半期純利益	7,721	11,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	187
その他の包括利益合計	21	187
四半期包括利益	7,743	12,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,743	12,143
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度から単体納税制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度から単体納税制度へ移行しております。そのため、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）第33項及び第69項の取扱いにより、当連結会計年度から単体納税制度を適用するものとして、前連結会計年度末以降の繰延税金資産及び繰延税金負債の額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（企業結合等関係）

（連結子会社による事業譲受）

当社の連結子会社である株式会社クスリのアオキは、2022年10月3日開催の取締役会にて、株式会社三崎ストアの食品スーパー事業を譲り受けることを決議し、同日付で同社と事業譲渡契約を締結し、2022年12月1日付で事業譲受を実施いたしました。

1. 事業譲受の概要

(1) 譲受先企業の名称及び事業の内容

譲受先企業の名称 株式会社三崎ストア

譲受事業の内容 食品スーパー事業

(2) 事業譲受を行う主な理由

食品スーパーの持つ新鮮な食材の品揃えとドラッグストアの持つヘルス&ビューティーや日用品の品揃え、また処方箋を取り扱う調剤薬局を組み合わせることで、地域のお客様にとってより一層ご愛顧いただける店舗を作ることができると判断したためです。

(3) 事業譲受日

2022年12月1日

(4) 事業譲受の法的形式

現金を対価とする事業譲受

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2022年12月1日から2023年2月20日まで

3. 譲受事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

事業譲渡契約の定めにより、守秘義務があることから非開示とさせていただきます。

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 12百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

70百万円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって、期待される将来の超過収益力から発生したものです。

(3) のれんの償却方法及び償却期間

10年にわたる均等償却

6. 事業譲受日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	－百万円
固定資産	238
資産合計	238
流動負債	0
固定負債	48
負債合計	48

7. 事業譲受が当四半期連結累計期間の開始の日に完了したと仮定した場合の当四半期累計期間の四半期連結

計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（連結子会社による事業譲受）

当社の連結子会社である株式会社クスリのアオキは、2023年1月5日開催の取締役会にて、株式会社サンエーの食品スーパー事業を譲り受けることを決議し、同日付で同社と事業譲渡契約を締結し、2023年3月1日付で事業譲受を実施いたしました。

1. 事業譲受の概要

(1) 譲受先企業の名称及び事業の内容

譲受先企業の名称 株式会社サンエー

譲受事業の内容 食品スーパー事業

(2) 事業譲受を行う主な理由

食品スーパーの持つ新鮮な食材の品揃えとドラッグストアの持つヘルス&ビューティーや日用品の品揃え、また処方箋を取り扱う調剤薬局を組み合わせることで、地域のお客様にとってより一層ご愛顧いただける店舗を作ることができると判断したためです。

(3) 事業譲受日

2023年3月1日

(4) 事業譲受の法的形式

現金を対価とする事業譲受

2. 譲受事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

事業譲渡契約の定めにより、守秘義務があることから非開示とさせていただきます。

3. 譲受事業の資産・負債の項目及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

3. 補足情報

当社グループは、医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売事業という単一セグメントであるため、仕入実績は商品部門別に、販売実績は商品部門別及び地域別に記載しております。

① 仕入実績

当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間の仕入実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年11月21日 至 2023年2月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
ヘルス	6,994	9.9	21,332	10.3
ビューティ	7,905	11.2	25,586	12.3
ライフ	13,232	18.7	41,195	19.8
フード	35,163	49.8	100,154	48.3
調剤	7,358	10.4	19,299	9.3
合計	70,654	100.0	207,567	100.0

(注) 1. 上記の金額は、物流益等(店舗への直送受託収入から直送委託費用を控除した物流益及び発注にかかるデータ収入)を控除していません。

2. ヘルス、ビューティ、ライフ、フード、調剤の主な取扱品目は以下のとおりであります。

ヘルス … 医薬品、ビタミンサプリメントやダイエットサプリメント等の健康食品、救急用品や健康管理用品等の医療用品

ビューティ … カウンセリング化粧品、洗顔料等のフェイスクケア商品、ボディソープ等のボディケア商品、シャンプー等のヘアケア商品、歯磨等のオーラルケア商品

ライフ … オムツ等のベビー関連商品、介護用品、生理用品、洗剤、家庭用品、ペットフード、靴下や肌着等の衣料用品、家電用品

フード … 加工食品、日配食品、生鮮食品、調味料、菓子、飲料、酒等の食品

調剤 … 薬局にて処方する医療用医薬品

② 販売実績

当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間の販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年11月21日 至 2023年2月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
ヘルス	11,702	11.9	31,082	11.0
ビューティ	12,871	13.2	39,001	13.8
ライフ	18,055	18.4	55,406	19.6
フード	43,907	44.8	124,405	44.1
調剤	11,409	11.7	32,331	11.5
合計	97,945	100.0	282,227	100.0

③ 地域別販売実績

当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

区分	店舗数 (店)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年11月21日 至 2023年2月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
北信越	346	46,309	47.3	134,031	47.5
東北	61	6,399	6.5	17,770	6.3
関東	241	23,320	23.8	67,839	24.0
東海	158	15,232	15.6	43,424	15.4
関西	70	6,683	6.8	19,161	6.8
合計	876	97,945	100.0	282,227	100.0

(注) 店舗数は当第3四半期連結会計期間末現在のものです。